

# 社会基盤を支えるメンテナンス技術者養成による地域創生への貢献

## 事業の背景・方向性・目的

### ● 本事業の背景と方向性

#### 社会基盤の老朽化

- 高度成長期に建設された社会基盤（道路，橋梁，トンネル，斜面，堤防，防災施設，公共施設等）の老朽化の進行  
（例：中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故）
- 市町村の現状：深刻な技術力不足のため橋梁等の維持管理・修繕が困難  
（町の約5割、村の約7割で橋梁保全業務に携わる土木技術者不在）

・社会基盤の維持管理による安心・安全な地方の生活圏を保持  
・社会基盤を持続的に維持管理する人材と産業の確保

メンテナンス技術者の育成が急務

#### 本事業の方向性

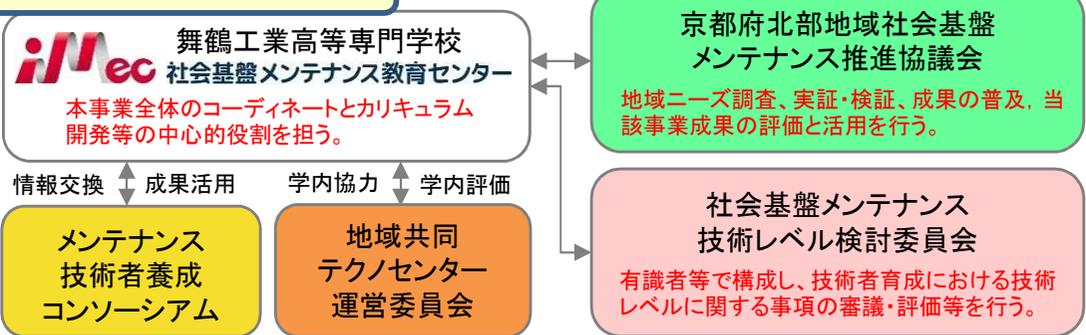
- ・地域の社会基盤のメンテナンスを担う技術者の養成
- ・地方創生の新産業としての「社会基盤の維持管理」

### 地域への貢献・新産業を牽引する人材育成

### ● 本事業の目的

- 舞鶴工業高等専門学校社会基盤メンテナンス教育センター※における教育プログラムを充実させ、メンテナンスに係る教育を地域に提供する。
- 文科省の中核人材育成事業により開発したコンテンツを学生用に発展させる。
- 「社会基盤の維持管理」がビジネスモデルとして成立するための貢献を行う。

## 実施体制イメージ図



## 平成29年度の具体的な取組内容

- ① **アクティブ・ラーニング**によるメンテナンス教育の充実
  - ・eラーニングと体験型学修を組み合わせた教育プログラム
  - ・道路構造物系のメンテナンス教育プログラムのより一層の充実
  - ・体験型学修のための教材・実習の整備・調査
- ② **斜面・堤防，防災，公共施設**に係る教育プログラムの開発
  - ・デジタル版教育コンテンツの作成
  - ・オンデマンド型自己学修支援システム(e-learning)の構築
  - ・学修到達度確認試験問題の作成
- ③ **開発カリキュラムの実証・検証**
  - ・連携高専の専攻科生および本学の学生への試行
  - ・検証：アンケートと学修到達度確認試験を実施
- ④ **受講生へのインセンティブ付与**に関する調査
- ⑤ **事業成果の普及・活用**
  - ・協議会を通じて地元民間企業等に事業成果を周知
  - ・小中高の教員向け及び生徒向けの事業紹介(地域に根ざす人材育成)
  - ・iMecフォーラムの開催

## 工程表・成果指標

工程表	H29.7~9	H29.10~12	H30.1~3
ニーズ調査	■		
教育コンテンツの充実・整備	■	■	
教育コンテンツの試行・評価		■	■
成果のまとめ・改善			■

### ● 成果指標

- [地域への貢献] A. 社会基盤のメンテナンスに供する人材の供給 6名 (H27年度3名 H28年度4名)  
[新産業を牽引する人材育成]
- B. 橋梁点検に係わる教育プログラムの受講者数 20名 (H27年度7名, H28年度9名)  
C. 高専機構による技術者資格認定者数 14名 (H27年度0名, H28年度6名)

### ● 30年度の取組

H30 工程表	H30.4~6	H30.7~9	H30.10~12	H31.1~3
教育コンテンツの検証・反映	■			
教育コンテンツの整備・調査	■	■		
教育コンテンツの試行・評価		■	■	
成果まとめ・改善				■

## 第4期中期目標期間への展開

本事業を実施することにより、土木・建築系高専生が地域の安全と安心を守る社会基盤の整備・維持管理に興味を持つと共に、地域に就職することが地域社会への貢献になることを意識させ、地元自治体及び地域産業への人材供給を促進する。コアカリキュラムへのメンテナンス工学の導入、インフラメンテに係わる他学科との協働も図る。